

キノキサリン系水和剤 モレスタン水和剤	取扱メーカー： サンケイ＊，カネショウ 原体メーカー： カネショウ
成分： キノキサリン系〔PRTR・2種〕……………25.0%	性状： 黄色水和性粉末63μm以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- うどんこ病に対して茎葉散布及びくん煙処理ができる。
- うどんこ病に対し保護効果，治療効果があり残効性もある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- うどんこ病防除には予防的な散布をし，十分な散布量をを用いる。
- コナジラミ類には2齢幼虫～成虫に対する効果は低いので発生初期の卵の多い時期に散布する。
- 連続使用は，ハダニ類の薬剤抵抗性の増加や薬剤耐性菌の出現などにより効果が減じるおそれがあるので，過度の連用をさけ，他の薬剤との輪番で使用する。
- 煙霧用として使用する場合は，専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。
- 常温煙霧装置の選定及び使用に当っては，病害虫防除所など関係機関の指導を受ける。
- くん煙に使用する場合は，専用くん煙器（蒸散器）により所定の方法でくん煙する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液などアルカリ性剤との混用はさける。
- 盛夏の高温時及び施設内の高温時での使用は，薬害を生じるおそれがあるので，所定範囲内での低濃度で使用する。また，定植直後や幼苗，軟弱苗などには使用しない。
- 作業終了後，煙霧の場合は6時間以上，くん煙の場合は12時間以上そのままにしてから開放する。できれば翌朝までそのままとし，開放後十分換気して入室する。
- 開花期及び新葉展開期の樹木類には使用しない。
- 適用作物（いちご，みかん，ポインセチア，きゅうり，すいか，トマト，はすいも（葉柄））の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 桑に使用した場合は，6日以上経過してから蚕に給餌する。
- ハウスなどの常温煙霧又はくん煙用として使用する場合，作業中及びハウスの密閉中は室内に入らない。
- 魚類，甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので，使用時は注意。空容器等は適切に処理する。



【適用と使用法】

散布剤として用いる場合

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用流量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系 を含む農薬の総 使用回数	
かんきつ (みかんを除く)	ハダニ類	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	30日前まで	1回	散布	1回	
みかん	ミカンサビダニ			7日前まで			3回以内	
きゅうり	コナジラミ類	2000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	3回以内		5回以内	
すいか	うどんこ病	2000～ 4000倍		3日前まで	5回以内		10回以内	
メロン					10回以内		3回以内	
まくわうり					3回以内		4回以内	
かぼちゃ								
にがうり				2000倍				
トマト	コナジラミ類 トマトサビダニ	1500～ 2000倍		前日まで	5回以内		3回以内	5回以内
ピーマン	チャノホコリダニ うどんこ病	2000～ 3000倍			3回以内		3回以内	3回以内
	チャノホコリダニ	2000倍						
なす	うどんこ病	2000～ 3000倍						
しそ	ハダニ類 シソサビダニ	3000倍			10日前まで		2回以内	2回以内
オクラ	ハダニ類 うどんこ病							
いちご	うどんこ病	3000～ 4000倍		前日まで	3回以内	散布、但し 花穂の発生 期にはマル チフィルム 被覆により 散布液が直 接花穂に飛 散しない状 態で使用する		
みょうが (花穂)	ハダニ類	3000倍						
みょうが (茎葉)							みょうが (花穂)の収 穫前日まで 但し、花穂 を収穫しな い場合に あつては開 花期終了ま で	
はすいも(葉柄)							前日まで	
食用さくら(葉)							うどんこ病	100～ 700 ℓ
桑	ハダニ類	1000～ 2000倍		200～ 700 ℓ	発生初期	10回以内	10回以内	
	裏うどんこ病	2000倍	発病初期					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系 を含む農薬の総 使用回数
花 き 類・ 観 葉 植 物 (カーネーション を除く)	うどんこ病	2000～ 3000倍	100～ 300 ℓ	発病初期	10回以内	散布	10回以内
カーネーション	ハダニ類	1000倍		発生初期			
樹 木 類 (こでまり, ポインセチア, やなぎを除く)	うどんこ病	2000～ 3000倍	100～ 700 ℓ	発病初期			
こ で ま り		2000～ 3000倍		発生初期			
ポインセチア	コナジラミ類	1000～ 2000倍		発生初期			
	うどんこ病	2000倍		発病初期			
や な ぎ	ハダニ類	1000倍		発生初期			
	うどんこ病	2000倍		発病初期			

常温煙霧・くん煙として用いる場合

作物名	適用場所	適用病害名	10 a 当り		使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む農薬 の総使用回数
			使用量	使用液量				
ば ら	温室, ガ ラス室, ビニール ハウス等 密閉でき る場所	うどんこ病	20g/100m ³ (50 m ² ×2m)	—	—	10回以内	くん煙	10回以内
ピーマン					前日まで	3回以内		3回以内
きゅうり			50～100g	5 ℓ	3日前まで	10回以内	常温煙霧	10回以内
メ ロ ン			100g					